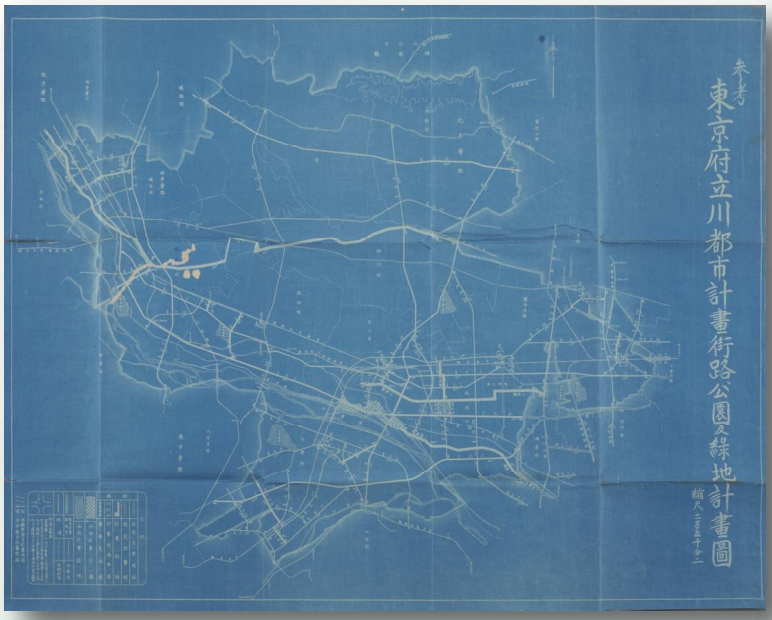
都市計画と緑地（多摩地域）



参考　東京府立川都市計画街路公園及緑地計画図



立川都市計画国分寺緑地計画図

請求番号：U519.8-とち-666

東京市郊外へと続く鉄道沿線を中心に各所で住宅地の開発が進みました。東京を中心とした20～50km圏にある現在の立川、府中、武蔵野、昭島、東大和などへの工場集積が顕著となり、工業地も郊外へと拡大していきました。

多摩地域では、市のみ適用される都市計画法に基づき、昭和４年(1929)３月に八王子都市計画が策定されました。その後、昭和８年３月に、郊外の無秩序な開発による緑地や空地の減少、防空、防火、保健衛生を憂慮して、都市計画法が町村でも適用できるよう改正されました。昭和14年１月に武蔵野、３月に町田、12月に府中、立川、調布、青梅、昭和17年12月に東村山に都市計画が立てられました。

町村をまたがって広い範囲の区域が設定され、街路、広場、公園、緑地、空地が指定されました。